

# ほっとたいむ

第22号  
2017.春

那須塩原市ファミリーサポートセンターに  
6度目の春がやってきました。今年度もNPO  
法人「子育てほっとねっと」が市の委託を受け  
て引き続き運営させていただきます。



27年度から始まった子育て応援券制度ですが、28年度も2歳以下の子どもがいる家庭に配布され、ファミサポでの利用も増えてきました。さらに今年度はひとり親家庭などでファミサポを利用した際の助成制度も始まり、ファミサポの出番がますます増えるように思います。スタッフ一同、サポート会員さんとともに、利用会員さんに寄り添う活動をこれからも続けていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。会員さん同士、また、会員の皆さんとファミサポスタッフがつながる場として、今年度も毎月一度の行事（全会員対象の交流会4回、サポート・両方会員



のためのサロン7回とステップアップ研修1回)を計画しています。会報で順次お知らせしていきますので、お気軽にご参加ください。

## 28年度サポート活動のまとめ

サポート内容	件数	サポート内容	件数
保育施設等の送迎	286	習い事等の送迎+預かり(休日以外)	25
習い事等の送迎	337	習い事等の送迎+預かり(休日)	3
その他の送迎	5	その他の送迎+預かり(休日以外)	23
保育施設等の開始又は終了後の預かり	64	その他の送迎+預かり(休日)	4
保育施設等の休日の預かり	72	その他のサポート	19
軽度の病気の子の預かり	4	キャンセル	213
未就園児の預かり	462	自然災害等により中止	0
保育施設等の送迎+預かり	177	合計	1694

### なすしおばら市 ファミリーサポートセンター

〒329-2754 那須塩原市西大和 6-2

TEL/FAX 0287-47-6252

開所時間 月～金 8:00～18:00  
土 8:00～12:00

E-mail: hotnet.famisapo@eco.ocn.ne.jp

HP アドレス <http://hotnetfamisapo.com>



H29.3.31 現在の会員数 356人

# ステップアップ研修 傾聴ワークショップ 報告

サポート会員のスキルアップのために毎年1度開催しているステップアップ研修。今年度はさくら市の「話の聴き方教室 傾聴ハピネス」代表の渡邊純子さんを講師にお迎えしてワークショップを行いました。「会話の階段は一段ずつ上がる。会話はドッチボールではなくキャッチボールで。」等、わかりやすいお話に参加者の皆さんも納得された様子でした。参加して下さったサポート会員さんの感想をご紹介します

## 傾聴講座を受講して

講師の渡邊先生のお話、2人1組で話し手・聴き手の役になるワークショップなど、感心してばかりであつという間の1時間半の講座でした。

ワークショップでは、3つの聴き方により話し手の気持ちの変化を体験でき、聴き方一つで話し手に与える印象が全然



違うことに驚きました。何気なく接していた中でついつい不快感を与えてしまっていたのかも？子どもが小さかった頃に知っていたら…と思う場面がありました。ほんの少しの心がけで話す相手に安心感を持ってもらえるのと同時に、話を聴いているこちらにも優しい暖かな気持ちになれたことも発見でした。

講座をきっかけに少しでも聴き上手になれるよう、まずは家族の話に耳を傾けたいと思います。今回このような機会をいただきありがとうございました。

サポート会員 石川菜良

## 一人親のための交流会 報告



会場に着くと、すでにお出汁のいい匂いがしていました。私のした事といえば、うちではこうするわ、こうすると美味しいの、なんて色々教えていただきながら大根やゴボウを切った位。玩具で遊んでいた二歳の娘もいつの間にか他のお子様の真似をしてサラダ作りを手伝っていました。事前にアレルギー等を聞いて下さり、私は安心、娘は大喜びでした。同じ一人親の方と知り合えるとても充実した時間をありがとうございました。

利用会員 松本桃子



この日の献立は  
けんちゃんうどん  
つきたてのお餅  
かぼちゃプリン  
サラダ、でした



みんなで「いただきま〜す！」

## 利用会員の声

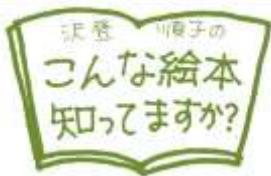
ファミリーサポートを利用させて頂くようになり、早いもので一年が経とうとしている。

ファミサポのスタッフの皆さんも、サポーターの皆さんも素晴らしい方ばかりで、サポートしてもらう事は大変ありがたい。ただ、それ以上に自分達の住む地域に信頼できる人が(しかも何人も)出来たという事が単純に嬉しい。私自身の出身地では無いので、昔ながらのお付き合いというものがない中、子供にとってもこのコミュニケーション時間はかなり貴重である。

初めは全く見知らぬ人のお宅で我が子が数時間を過ごすという事自体、どうなのだろう?と不安と疑問を持っていたのだが、ファミサポスタッフの方の「他人の生活を体験してみるという機会もなかなかいいものですよ」という言葉になるほど一と納得した

のであった。確かに自分の幼少期には近所のお宅に上がり込んで遊んだりおやつをもらったり(思えば子供の有無に関わらず)していたものだったし、ウチはこうだけど、色んな人がいて、それぞれ違うものなんだという当たり前の事実を実感としてできる訳で、子供にしてみれば保育園と自宅の行き来しか殆どない中、何人かのサポーターの方とそのご家族と少しでも接点を持てた事は新たな世界の一步でもあったのかもしれない。また、近頃は子供が親の私には言わないようなこともサポーターさんにポロっと言う時があるようで、そんなことも、とても嬉しい。自分を出せる(出したいと思える)場所があるということだろうから。

4月からは小学生になる我が子。また新生活と新しい出会いがあると思うが、出来ればまだまだこれからも大いに利用させて頂いて、ゆくゆくは私自身も両方会員になれればいいなと思ってる。いつも本当にありがとうございます。これからもよろしくお願いします。 利用会員 M・S



### 「こいぬがうまれるよ」 ジョアンナ・コール文 ジェローム・ウェクスラー写真

「おとなりのいぬにあかちゃんがうまれるの。いっぴきわたしがもらうんだ！」小さな女の子のワクワク感が、こちらまで伝わってきます。おかあさん犬が出産するシーンや、子犬がおっぱいを飲んで育っていく様子が、白黒の写真で語られてゆきます。白黒の写真だから良いのでしょうか。出産の場面なども安心して見ていられるのだと思います。

2カ月間おかあさん犬のそばで育つと、もうおかあさん犬からはなしてもだいじょうぶ。

子犬の名前は「ソーセージ」ひもでつながれて、「きょうからソーセージはほんとうにわたしのいぬ。これからはいつもいっしょ」

女の子と子犬が向かい合う最後のページは、なんともいえずかわいらしいです。



## ヒヤリハットにご用心!

サポート中にヒヤッとしたことやハットしたことはありませんか? 最近のサポート中にあったヒヤリハット事例を紹介します。

皆さんのヒヤリハット事例もお聞かせください。みんなのヒヤリを共有し、自分のサポートに活かしましょう。

利用者宅で子どもを預かるサポート。利用者宅に到着し、駐車場にバックで駐車している最中、車の後方に預かる子どもが立っていた。サポート会員の車が来たのが見え、一人で外に出てきたようだった。

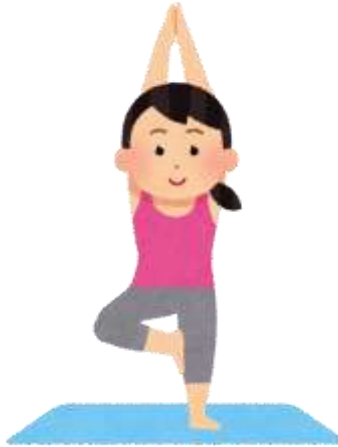
サポート会員は慣れない駐車場に止めることに集中していて、子どもに気付いた時にはヒヤリとした。

子どもは気になるものがあると周りが見えなくなり、予想できない行動をとることがあります。特に車の運転中や駐車時は「もしかしたら子どもが飛び出すかもしれない」「ドア越しに子どもがいるかもしれない」等、サポート時だけでなく、いつも危険がひそんでいることを心に留めておきましょう。特に利用会員宅でのサポートは、慣れない場所での駐車など、いつもとは違う状況になるので、預かる方も預ける方も子どもの年齢に応じた危険予知を考えておくことが大切です。

## 4～7月の行事

利用会員・サポート会員・両方会員のための

# ヨガで交流会♪



日時 6月5日(月) 10:00～12:00

場所 三島公民館 講座室

持ち物 ヨガマットかバスタオル

申し込み締め切り 5月26日(金)



前回も好評だった初心者でも楽しめるヨガで、日々の疲れをリフレッシュしましょう。ヨガの後はお茶を飲みながらの茶話会になります。会員同士のお顔合わせや情報交換もできます。また、この機会にファミサポへの質問や要望を是非お聞かせください。

お部屋の中に託児コーナーを設けますので、お子様連れでどうぞ。

## サポート会員のための サロン

準備の都合上お申込みいただけると助かります

### ①サポート体験談を 聞こう！

4月24日(月)

10:00～12:00

この3月でファミサポスタッフを卒業された佐々木さんのサポート体験談を聴きながら、年度初めの茶話会です。センター事務所にて。(申し込み不要です。お気軽にお越し下さい。)

### ②手仕事好き集まれ～ 5月2日(火)

10:00～12:00

クラフトテープでテニスラケットのストラップを作ろう！



厚崎公民館にて

### ③コマを作ろう！ 7月7日(金)

10:00～12:00

丈夫で子どもにも回しやすいクラフトテープのコマを作ります。



厚崎公民館にて

## センターからのお知らせ

- ①29年度より、一人親家庭・低所得者家庭等の方のサポート利用料に**半額補助の助成金が出ることになりました(上限1万円/月)**。申請の手続きについては市の保育課に直接おたずね下さい。保育課 0287-46-5535
- ②サポートの支払いに使える子育て応援券ですが、**ピンクのものは利用の期限切れ**となっております。ご注意ください。
- ③会員からいただいたリユース子供服など、必要な方に随時さし上げていきます。センターに見に来てくださいね。

新年度からスタッフが少し変わりました。黒磯地区は長瀬と磯、西那須野・塩原地区は安田と熊久保が主に担当させていただきます。サブスタッフ田仲と共に、5人で引き続きがんばってまいります。どうぞよろしく願いいたします。